

がじまる

2019
秋号

令和元年 11月

No.395

発行/沖縄県消費生活センター
電話(098)863-9212(事務室)
那覇市泉崎1-2-2 沖縄県庁1階

「くらしの情報誌がじまる」は、沖縄県消費・くらし安全課のホームページでもご覧いただけます。

◆「金融リテラシー調査2019年」の結果が公表されました◆

金融リテラシー調査は、わが国における18歳以上の個人の金融リテラシー（お金の知識・判断力）の現状を把握するために、金融広報中央委員会が実施したアンケート調査で、2016年調査に続く2回目の調査となります。詳細は「知るぽると（金融広報中央委員会）」のホームページをご覧ください。

沖縄県は全国最下位

※コメントは沖縄県消費生活センターによる。

【図表1】正誤問題の正答率

順位	今回 【2019年】	前回 【2016年】
1位	香川県	奈良県
2位	長野県	香川県
3位	山形県	京都府
4位	山口県	岡山県
・	・	・
44位	宮城県	青森県
45位	栃木県	山形県
46位	佐賀県	沖縄県
47位	沖縄県	山梨県

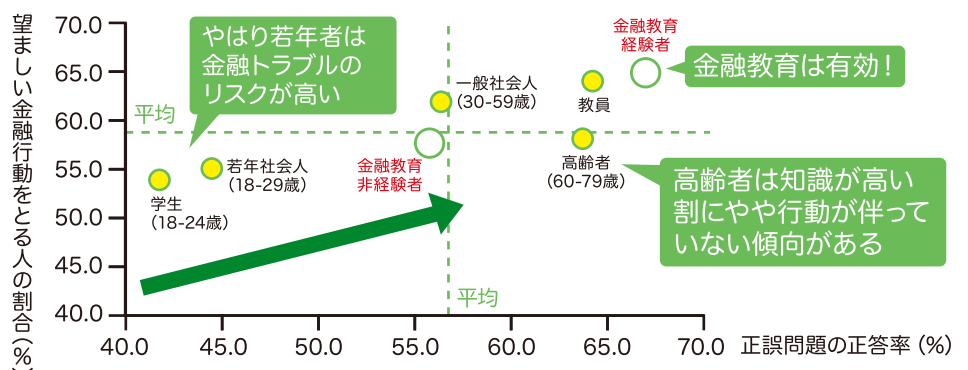
【図表2】各項目における沖縄県の全国順位

項目	順位
お金を借り過ぎていると感じている人の割合	1位
消費者ローンを利用している人の割合	3位
金融トラブル経験者の割合	3位
「学校で金融教育を行うべき」と思っている人の割合	3位
借入れ時に他の金融商品と比較した人の割合	44位
金融トラブル発生時の相談窓口を認識している人の割合	45位
資産、負債の現状について満足している人の割合	45位
緊急時に備えた資金を確保している人の割合	46位
老後の生活費について資金計画をたてている人の割合	46位
投資信託を購入したことがある人の割合	47位

- 正誤問題の正答率は47都道府県中、最下位となりました（前は46位）。
- お金の借入れや消費者ローン利用が非常に多い一方で、借入れ時には金融商品の比較も行っておらず安易に借入れしている傾向がうかがえます。
- 金融トラブル経験者が多いにも関わらず、相談窓口はあまり認識されていません。
- 学校での金融教育が必要だと考えられています。

若年者はリスク
が高く、
金融教育は有効

【図表3】職業・年齢階層別の正答率と行動（全国）



無料のお試しダイエットサプリが 高額請求へ。。。!!



事例

お試し無料(送料300円)のダイエットサプリを試しに注文したら、商品が届いた10日後に、更に4ヶ月分の商品と約4万円の請求書が送付されてきた。

驚いて問い合わせると、「4ヶ月分の購入が条件である。サイトにもその旨記載している。必ず支払ってもらおう。」との回答だった。生活困窮世帯であり、支払えないがどうしたらいいか？

インターネット通販は、特商法のクーリング・オフの対象とはなっておらず、基本的に**ホームページに表示された契約条件に従うこととなります**。当該商品は、初回無料の代わりに、次回4か月分の購入が解約の条件となっていました。

この事例に限らず、「初回のみ〇〇円」、「お試し価格」の商品(健康食品、サプリ、化粧品等)を1回だけのつもりで注文したら、定期購入が条件になっており高額請求された、との相談が非常に多くなっています。

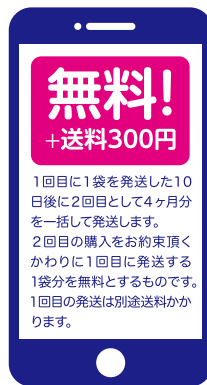
よくあるトラブル

- 「初回のみ〇〇円」とあるが、定期購入の条件がついており総額で桁違いの高額な請求を受けた。(100円のみが数千円、500円のみが数万円など)
- 解約の電話をするが、何度かけてもつながらず解約できない。
- 解約の条件が厳しい(解約手続きが煩雑で、なぜか免許証(写)や住民票の提出まで義務づけていた事例もある)。

アドバイス



- ☑ 「初回のみ」や「お試し価格」の場合、**なんらかの条件が付されていないか必ず確認しましょう。**
- ☑ 契約内容や解約条件を確認しましょう。



2回目の購入をお約束頂くかわりに1袋分を無料とするものです

◆ 沖縄県金融広報委員会からのお知らせ ◆

金融広報アドバイザーの無料派遣を利用してみませんか!

公民館をはじめ自治会、学校、PTA、サークルなど一般県民を対象とした地域の講演会や学習会に『金融広報アドバイザー』を講師として派遣します。講師の謝礼、交通費は無料ですので、事務局までお気軽にお問い合わせください。

沖縄本島全域をはじめ離島にも派遣いたします。

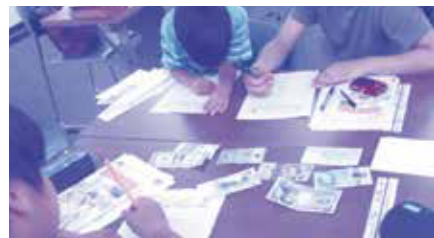
講座時間	1回当たり1時間～2時間程度(参加人数10名以上)
講師派遣料	一切不要(当委員会にて負担)*会場は、申込者側でご用意ください。
申込	開催予定日の1ヵ月前までにお申込みください。
申込方法	「講師派遣依頼書」をFAXいただくか、当委員会ホームページのお申込みフォームからお申込みください。
テーマ(例)	お金クイズ&おこづかいゲーム、社会に出る前に知っておきたいお金のこと、求人票の見方、悪質商法の手口と対処法、スマホ関連のトラブルについて、家計見直し術とライフプラン、エンディングノートの活用法など
令和元年度派遣実績	大岳小学校(久米島)、久部良中学校(与那国)、コザ高校、西原高校、沖縄市老人クラブ連合会、石嶺児童園、マザーズスクエア、津覇古公民館など

詳細については、ホームページ [知るぽると沖縄](#) で検索。お気軽にお問い合わせください。

暮らしとお金のセミナー&FPフォーラムを開催しました。

8/4(日)に沖縄市立中央公民館で「暮らしとお金のセミナー&FPフォーラム」を日本FP協会沖縄支部と共催で開催しました。金融広報委員会は、キッズマネー学習「世界のお金を見てみよう&自由研究のまとめ方」の講座を行いました。日本や海外の紙幣を手に取り、「初めてプラスチックの紙幣を見た。」「日本の千円札とほかの国のお札では全然違ったし、値段(価値)も違うことがわかった。」などの感想をいただきました。

来年2月に宮古島でも開催予定です。大人向けのセミナーもありますので、ぜひ足をお運びください。



これからのイベント情報

★先生のための経済教室in沖縄(那覇市)

1月18日(土) 13:00～17:00

★暮らしとお金のセミナー&FPフォーラム

2月1日(土) 10:30～16:00(宮古島市)

沖縄県金融広報委員会事務局

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2

[県庁1F 消費生活センター内]

電話:098-863-9212 FAX:098-863-9215

ホームページ:<https://www.okinawa-kinkoui.com/>

あなたの消費が世界の未来を変える

「エシカル消費」

「エシカル消費」とは

「エシカル」(ethical)とは、英語で「倫理的な」という意味で、「エシカル消費」とは、より良い社会に向けた、人や社会、環境に配慮した消費行動であり、何を買うか考えるときの、ひとつの尺度です。エシカル消費を実践することで、日々の暮らしの中から買い物を通じて、世界が抱えている貧困・人権・気候変動といった問題を解決に導く一端を担うことができます。

例えば

- ①人への配慮
障がいのある人の支援につながる商品を選ぶ
- ②社会への配慮
発展途上国の原料や製品を適正な価格で取引している「フェアトレード商品」を選ぶ
- ③環境への配慮
エコ商品を選ぶ
- ④地域への配慮
地元の産品を買う(地産地消)

エシカル消費は、2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)のゴール12に関連する取組です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



12 つくる責任
つかう責任



12番は
つくる責任
つかう責任

国際的な17の目標のなかにも、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などと併せて「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられています。

